



ささきはるか
佐々木 春華 さん
(2年)



のぐちあかね
野口 茜 さん
(2年)



かわはらりょうた
川原 涼太 さん
(3年)

フラワーアレンジで全国大会

夏休み 前に装飾技能士の資格を持つ顧問の高橋寿幸先生からコンテスト出場の話を受けて挑戦してみました。コンテストまで時間がなかったので、夏休みの間は毎日学校で先生の指導を受けました。当日用意される花の種類や花器は本番1カ月前に知らされますが、花の色は当日でなければわからないんです。コンテストは、1時間以内にアレンジ作業、作品の紹介文作成、後片付けを全て終えなければならず、手早く作業ができるよう、作品の仕上がりをイメージすることが重要なんです。当別高校がフラワーアレンジメントコンテストに出場するのは初めてで、しかも全国大会に行けるなんてとてうれしいことです。全国大会で入賞できるように頑張ります。



佐々木さんの作品

北海道上で優秀賞

初め は佐々木さんをサポートするつもりで、高橋先生の指導と一緒に受けていました。はさみの使い方が人と違うのか、先生や佐々木さんのほか園芸デザイン科の仲間から「はさみで指を切りそう」と心配されます。アレンジメントの時に指を切ったことはないんですけどね。もともと人前に出るのは苦手なので、フラワーアレンジメントコンテストへの出場にはあまり気が進みませんでした。それでも夏休みの間、毎日、一所懸命に作品を作るうちに、折角だから自分の作品がどう評価されるのか試したいと思うようになりました。結果は優秀賞をいただきとても満足しています。



全国大会前の練習と一緒に
なつて作業をする野口さん

全国大会出場！農業鑑定競技会

農業 鑑定競技とは、農業・園芸・畜産など8つの分野に分かれ、40問の専門的な問題を、1問あたり20秒から40秒の制限時間内で回答する競技です。夏休み前に学校内で予選会を開催し、農業分野で2人、園芸分野で2人、計4人が全道大会に出場しました。当別高校は、この競技に毎年出場していますが、全国大会の出場は3年ぶりです。農業分野の問題は農業機械の種類や農作物の種から品種を答える問題、そのほか「1ヘクタールにジャガイモの種芋を何個植えられるか」という計算問題が出てきますね。学校で学ぶほかインターネットなどを使って専門的な知識を勉強して全国大会に挑みたいと思います。

佐々木さんは10月21日秋田県で「全国産業教育フェア」に、川原さんは10月25日岡山県で「農業クラブ全国大会」に出場します。これまでの成果を遺憾なく発揮し、良い結果が出ることを願っています。

(9月11日取材)